

# 若年性認知症 本人のつどい 『ブルーメンの会』

1

鴻巣市認知症地域支援推進員  
石井喜美枝

# 「ブルーメンの会」

若年性認知症の方、認知症ではないかと心配されている方が集い、語らう場

平成30年7月発足

ブルーメン(Blumen)

ドイツ語で「花」のこと。

鴻巣市は“花のまち”です。

花にちなんだ名称をつけることを  
参加した皆で決めました。



若年性認知症の本人同士が集い、仲間と語り合う場。

ひとりではうまく表せないでいる内面や本音を、  
仲間と出会い語り合いながら、  
これからのよりよい暮らしのあり方や、  
自分らしいすごし方を探ることをめざします。



**開催日時：奇数月第2木曜日**  
**10:00～11:30**

**会場：鴻巣市**  
**吹上生涯学習センター研修室1**  
**(JR高崎線吹上駅 南口徒歩3分)**

**参加者：鴻巣市内の若年性認知症の方**  
**+ 県内の若年性認知症の方**

**スタッフ：鴻巣市認知症地域支援推進員2人**  
**チームオレンジサポーター2人**



# この活動に取り組んだきっかけ（平成29年頃・・・のこと）

推進員と2人の当事者との出会いから・・・

最初のきっかけは。



失くし物の失敗を嘆きながら  
過ごすAさん

もの忘れの失敗や今後の不安を抱えるのは  
Aさんだけではないことを伝えたい。

最近、元気な当事者が話題になっているし。  
Aさんも当事者の方と出会える場があるといいかも。



埼玉県若年性認知症コーディネーターに  
電話で県内の当事者活動について相談



㊦  
「認知症の人と家族の会」が主催する  
若年のつどいがあるから参加してみては？

Aさんと一緒に「若年のつどい」に参加してみたところ、



参加して良かった！  
何か自分にもできることがあるかも、という気持ちになりました。また、行きたいです。

今日は久しぶりに電車に乗りました。  
一緒に行ってもらえたから安心でした。  
最近は降りる駅を間違えて大変なことになるから怖くて乗れなかったのですよ。

② 推 Aさんがすごく生き生きとしている！  
当事者同士が話せるというのは、やはり良いこと。  
でも、電車を乗りながらでは、難しいかも。  
地元で開催できたら、Aさんも気軽に自転車で行けるのに・・・

あ!!そうか。



③ 当事者が2人揃えば、  
鴻巣でも“つどい”ができる。



そしてもうひとり…



「辛い思いをしているのは私だけ？」  
孤立感を抱えるBさん

推

Bさんだけじゃない。同じ思いをしている人が近く  
にいることを知ってもらいたいけど…

同じ市内に住むAさんと出会ってもらいたい。  
でもどうやって紹介しよう…



コ

Aさん、Bさんに出会いの場をつくろう。  
今度、オレンジカフェで  
Aさん、Bさんと私たちが女子会しちゃおう♪



# 女子会の開催へ

オレンジカフェに2人を誘い、顔合わせ。

互いの思いを話し合える場合は  
必要とされている！  
↓  
「当事者が2人揃えば、  
地元で“つどい”ができる」



初対面なのに、意気投合  
また、集まりたい♪



ちゃんとお化粧している  
じゃない、偉いねえ

もの忘れあるある！

お化粧すると気合が入るのよ。

あら、家族構成が一緒ねえ

すぐ、忘れちゃって  
嫌になる。

私もよ。だから  
メモ魔になったのよ。

Bさん母  
こんなにいい表情久しぶりにみた・・・

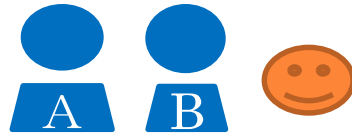


## さらにこんな展開が...

①推

コーディネーターと共同開催とすれば、推進員も心強い！  
そして参加する仲間も増える！

鴻巣市認知症  
地域支援推進員



鴻巣市に住む若年性認知症の方々

市



県

=連携=

②コ

コーディネーターと一緒に  
市外の人も参加する形にできない？

埼玉県若年性認知症  
コーディネーター



県内の若年性認知症の方々

鴻巣を会場に、市内と市外の人と一緒に『つどう』場づくりを計画することに

鴻巣市内のオレンジカフェで、まずは女子会から🌸

↓ おしゃべり楽しい!!

そして自分だけじゃなかった!! また会いたいね。  
男性も交えて、鴻巣市でも集まる機会を作ろう。

↓

鴻巣市との話し合い

若年性認知症支援の場づくりに理解

「参加人数が多い当事者会の方が、鴻巣から参加する方にとっても励みになるのでは。」

埼玉県・若年性認知症支援コーディネーター松本さん  
にも運営協力を得ることになる。

会場は鴻巣市が準備

↓

こうして、鴻巣市の方だけではなく、  
市外の方も鴻巣市に集まっていたくことになり、  
平成30年5月に準備会実施、7月から本格スタート。



# 準備会で決めたこと

**平成30年5月10日(木) 10:00~12:00**

当日参加者 7名 (鴻巣市内4名、市外3名)

- ・今後の開催内容について、当事者の意向確認  
「来たい人が、来たい時に事前申し込みなしで参加できる方が、負担にならなくていい」
- ・つどいの名称について  
『ブルーメンの会』に決定
- ・当日の内容は、その場の話題から展開するのが良い。
- ・「互いに名前を呼びあいたい」⇒席札を準備する。

## 好きなイラスト付きの席札



## ▶「ブルーメンの会通信」

参加者からの「当日参加できなくても、その時の活動内容がわかり、繋がりを保てるようにしてほしい。」という提案から誕生。

推進員が作成。現在まで第29号を発行

活動周知にも活用できるので、  
埼玉県のホームページにも掲載中。



最新号のみ 埼玉県のホームページに掲載中

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0609/ninchisyosesaku/jakunen.html>

## 実際の活動

### ★会場設営(参加者も一緒に)

### ★毎回の内容

- ・自己紹介+今の気持ち
- ・自由な語りの時間

話題はその時々で、和気あいあいと展開。

「苦労」も「工夫」も「希望」も語れる場。

同じ認知症という病名でも、症状や生活のしづらさは様々。

互いに話してこそわかることが沢山ある。

各自生活の中で、いろいろな工夫を取り入れていることが共有されている。

- ・情報提供、その他

- ・本日の感想

### ★会場片付け

## 最近の活動

🌸 外出企画!! [花久の里]

たまには外にでかけるのはどうかな。 令和4年11月頃

市内の花久の里とか?

令和5年1月頃

「昔行ったなあ。またいきたいなあ」

「バラの時期、綺麗らしいよ。」

「そんなところあるんだ。はじめて聞いた。なんだかワクワクする。」

→バラ園をめぐって、皆で食事もできたらいいね。

5月のばらまつりにあわせていってみよう

やっと実現できた

## 外出企画!! 花久の里



園内で食べた鴻巣名物川幅うどん。  
市民だけど初めて食べたという人が  
多かった。  
思った以上に天ぷらのボリュームもあり、  
皆大満足しました。

写真:花久の里ホームページより

令和5年5月29日(月)

4名が参加。  
あいにくの小雨降る中、めずらしい  
バラの品種や古民家の風情に  
興味深々。





## チームオレンジサポーターとの交流会 開催

ブルーメンの会:「自分たちのことを知って欲しい」  
メンバー

チームオレンジ:「認知症当事者の方からの話を聞きたい」  
サポーター



交流会を開催してみよう

令和5年5月11日の定例会にオレンジサポーター3人を招待



## 当日出席者

ブルーマンの会メンバー 4名  
オレンジサポーター 3名

お互い緊張しつつも・・・その場に出た語りによって自由に和やかに展開  
終了後

### チームオレンジサポーター:

「緊張した。当事者から生活の工夫をきけたのは良かった。」  
「もっと聞いてみたいことがあった」

### ブルーマンの会メンバー:

「今日みたいな場っていいね」「話をきいてもらえるのは良い」「またやってもいいね」

## ▶参加者の感想

◎病気をオープンにして話すことができるのは宝だ。(男性)

◎失敗することがあっても、話すことができると、気持ちが楽になる。そうでなければ一人で抱え込んでいた。ここでは安心して話せる。(男性)

◎病気のことを隠さずにいられる、素の自分でいられる場。(男性)

◎ここに来ると他の人がどんな気持ちで、どう過ごしているのか聞けるのが楽しみ。(男性)

◎やっぱり外でいろいろな人と話をした方がいいんだね。(男性)

◎“話すテーマがない”のがいい。とりとめのない話ができるのもまた良い。(男性)

◎ここに集まる人はみな「仲間」。仲間っていい。(女性)

# 参加してみませんか？

日程	時間・会場
令和5年 <del>5月11日(木)</del> 済	10:00~11:30  鴻巣市 吹上生涯学習センター 研修室1
<del>7月13日(木)</del> 済	
<del>9月14日(木)</del> 済	
<del>11月9日(木)</del> 済	
令和6年 1月11日(木)	
3月14日(木)	

ご清聴ありがとうございました。

